

楽しかったけれど、責任の重さも痛感した天気キャスター時代

私にとって気象というのは、人生のテーマかもしれません。やりたいことの見つからない大学生のとき、気象学に出会いました。初めて興味を持てるものが見つかって、学生時代、それしかやってきませんでした（笑）。気象の面白さは、生活のあらゆる場面に関わってくることです。何を食いたいのか、何を着るのかも天気や気温が関係します。地域の文化も経済も気候に影響される。まして日本は自然災害の多い国です。私には、知れば知るほど面白いテーマでした。

卒業後、気象協会に就職しました。もっと専門的に研究したかったし、気象の知識を活かせる仕事につきたかったからです。それと当時は女子アナブームで、天気キャスターになりたかった。就職してしばらくは、調査部で観測に出かけたり、大量のデータ相手に格闘したりでした。やがて地方局のニュース番組で、天気キャスターになる機会に恵まれました。3分間という短い時間ですが、脚本も演出もすべて任せていただいて本当に楽しかった。でもキャスター時代に東海豪雨などの災害も経験し、気象情報は命を守るための重要な情報であることを知り、楽しいだけでなく責任の重さも痛感しました。

毎年のように起きる異常気象、地球の温暖化は明らか

7年間キャスターをさせていただいたあと、大学院でもう一度勉強しなおすことにしました。キャスター時代、印象に残ったのは「初めて」というキーワードです。「観測史上初の降雨量」といった気象情報や、「こんなのは初めて」という被災者の声がとても多かった。異常気象が毎年のように起きるのです。地球の温暖化は明らかで、環境問題に取り組む必要性を痛感し、もっと勉強したくなったのです。

大学院では「地域気候政策」を研究しました。気候政策は、国際、国、地域の、それぞれのレベルで考えられます。大掛かりで動きの遅い国際レベル、国レベルよりも、地域レベルの取り組みの方が有効ではないかと思い地域気候政策を研究しました。それと自分が研究と社会をつなぐようなことをしたかったのです。

地域気候政策というのは、local climate policyの直訳で、今はドイツが一番の先進国です。日本の場合、CO₂排出を減らす方法は一人一人が我慢するといったイメージですよね。個人

温暖化対策のまちづくり、地域には大きな可能性と有効性があります



名古屋大学大学院 特任准教授
NPO法人 気象キャスターネットワーク理事
気象予報士

杉山 範子さん

すぎやま のりこ／岐阜県出身。2008年、名古屋大学大学院環境学研究科を修了（博士）。同研究科助教を経て現在、特任准教授（レジリエントシティ政策モデル）の開発とその実装化に関する研究（環境省）。地域気候政策・エネルギー政策の確立に向けた研究を行っている。



ESD あいち・なごや子ども会議で

の我慢によってエネルギー消費を抑制する。でも将来の大幅削減のためには、個人の取り組みでは限界があります。それは個人レベルを超えた社会の仕組みの問題です。

インフラ更新期の今が、低炭素まちづくりのチャンス

2012年にベルリンで半年間客員研究員をしていたのですが、向こうの人たちの考え方に触れて衝撃を受けました。ビル一つ建てるにしても、しっかりと未来への責任を考えているのです。一定割合で再生可能エネルギーの利用を義務付けるなど、長期的視点で温暖化対策の仕組みづくりをしています。それに比べ、日本はまだ本気になっていないですね。

私は最近、まちづくりに強い興味を持っています。国の制度が立ち遅れている日本の場合、地域での取り組みが大切です。エネルギーを確保し消費する街のあり方をどうするのか。50年先、100年先を見込んで考えていかないと、もう持たないのじゃないか。高度成長を通じて形成されたインフラが、いま更新の時期を迎えています。それは逆に長期的視点で温暖化対策を考えてまちづくりを進めるチャンスでもあります。

まず住民や企業などの参加によって、地域でまちづくりの方向性を決める。そしてそれがやがて国の仕組みになっていく。ドイツなどヨーロッパには、そういう事例があります。地域には大きな可能性と有効性があると私は考えています。

子どもたちの発言に元気をもらいました

日本で国際会議の開かれたESDで、私は「ESD あいち・なごや子ども会議」のコーディネーターをしていました。愛知県の子供約120人が5グループに分かれ、月に1~2回、気候変動や防災などをテーマに学び、持続可能な社会について話し合うのです。そこで子どもたちは自分の頭で考え、自分の言葉で話します。大人がハッとするような意見も言います。予想以上に頼もしい意見に感動し、私は子どもたちから元気をもらいました。あと10年たつとこの子たちが社会をつくっていく大人になります。この経験が将来役立つことを期待しています。